

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年8月24日(2006.8.24)

【公表番号】特表2005-532741(P2005-532741A)

【公表日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【年通号数】公開・登録公報2005-042

【出願番号】特願2004-519884(P2004-519884)

【国際特許分類】

H 04 B 1/707 (2006.01)

H 04 B 7/04 (2006.01)

【F I】

H 04 J 13/00 D

H 04 B 7/04

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月3日(2006.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プログラムされた命令に基づいて、データを処理する方法であって、

複数バッファ中の分離した複数バッファに対応する正しいバッファ・マッピング及びアドレスの生成によってメモリの複数場所を参照する工程と、及び

メモリ中の参照された場所から処理ユニットへデータを通信する工程であって、処理ユニットは複数バッファ中の分離した複数バッファから同時に入力を受信し複数バッファ中の別の1つのバッファに出力する工程と、

を含む前記方法。

【請求項2】

通信信号を処理するように動作する装置であって、

複数バッファと、

複数バッファ中の分離した複数バッファに対応する正しいバッファ・マッピング及びアドレスの生成によって、メモリ中の複数の場所を参照するように構成されたプログラムされた命令を含むコントローラと、及び

複数バッファ中の分離した複数バッファから同時に入力を受信し、また複数バッファ中の別の1つのバッファに出力する処理ユニットと、を含む前記装置。

【請求項3】

通信される通信信号を処理するためのシステムであって、

複数バッファ中の分離した複数バッファに対応する正しいバッファ・マッピング及びアドレスの生成によって、メモリ中の複数の場所を参照するための手段と、及び

メモリ中の参照された場所から処理ユニットへデータを通信するための手段であって、処理ユニットは、複数バッファ中の分離した複数バッファから同時に入力を受信し複数バッファ中の別の1つのバッファに出力する手段と、を含む前記システム。

【請求項4】

プログラムされた命令に基づいてデータを処理する方法であって、

ベクトルの計算を駆動する単一の命令を含むベクトル処理演算を実行する工程、を含む前記方法。

【請求項 5】

プログラムされた命令に基づいてデータを処理する方法であって、
802.11に準拠する波形を復調する工程であって、802.11に準拠する波形は
、プログラムされたメモリ中のプログラムされた命令に基づいて、その波形に付随するサ
ンプル・レートとは非同期的に処理される工程、
を含む前記方法。

【請求項 6】

プログラムされた命令に基づいてデータを処理する方法であって、
複数バッファ中の分離された複数バッファに対応する正しいバッファ・マッピング及び
アドレスの生成によってメモリの複数場所を参照する工程と、及び
メモリ中の参照された場所から処理ユニットへデータを通信する工程であって、処理ユ
ニットは、複数バッファ中の分離した複数バッファから同時に入力を受信し複数バッファ
中の別の1つのバッファに出力する工程と、を含み、
バッファ・マッピングは、出力としてマッピングされるバッファが命令の実行のあとで
入力としてマッピングされるように変化する、
前記方法。